

件名	介護職員の処遇改善を求める意見書の提出に関する陳情			
提出者 住所氏名	墨田区墨田 東京民医連労働組合健和会支部墨田分会 分会執行委員長 D			
受理年月日	平成31年1月30日	受理番号	第4号	
<p>要旨</p> <p>介護職員不足に歯止めをかけ、利用者により良い介護サービスを提供していくために、また、生活面で介護職員が離職を余儀なくされる状況を防ぐためにも、介護職員の処遇改善が図られるよう、国に対し、意見書を提出してください。</p> <p>(理由)</p> <p>現在、各種報道でも取り上げられているように、介護の現場では人手不足が深刻さを増しており、介護福祉士養成校では入学者の定員割れが続いています。</p> <p>そうした状況は、厚生労働省の統計調査でも明らかになっているように、全産業の有効求人倍率1.52倍に対し、介護分野の有効求人倍率は4.22倍となっています。その中でも、東京都における介護分野の有効求人倍率は全国で一番高い7.18倍となっており、人手不足は大変深刻な状況になっています。</p> <p>このような背景には、平均給与月額が全産業平均と比較して約10万円低いという介護職員の処遇実態があります。「介護の職場で働き続けたくても、生活ができないので離職をしなければならぬ」など、生活設計を理由に介護の仕事から離職を余儀なくされる者も少なくありません。</p> <p>今、介護職場に必要なことは、人手不足を解消し、なおかつ職員が生活設計を理由に退職を余儀なくされることを解消することです。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>				